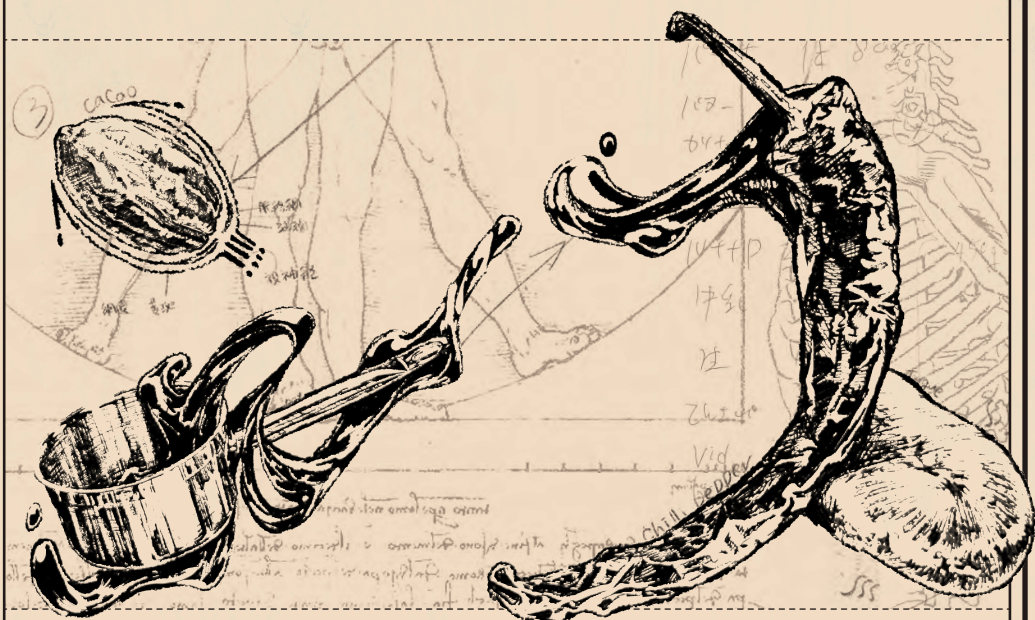
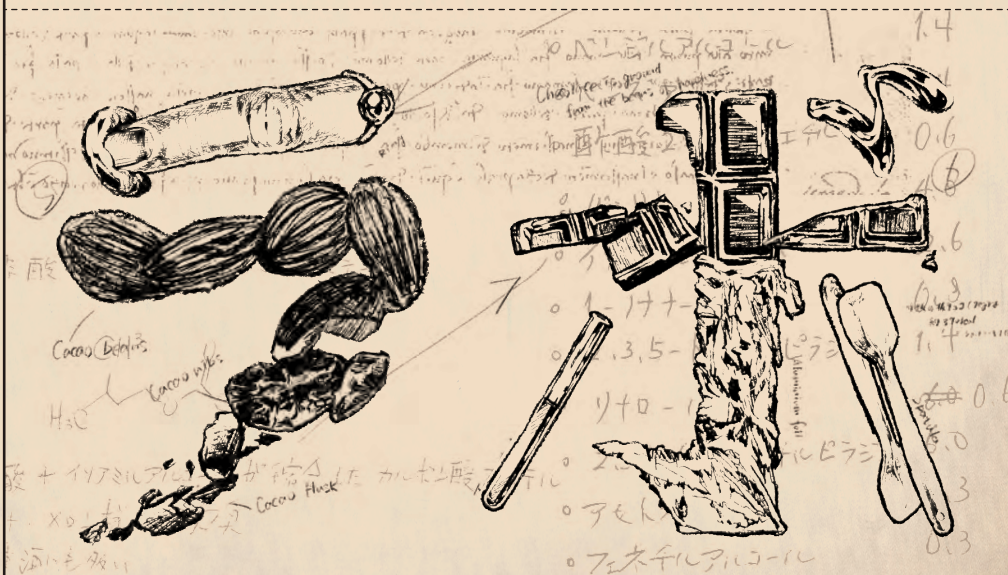


ここは、感覚の実験室。
[ロマンスラボ展-ROMANCE Lab EXHIBITION]



2021 2.27 sat _ 3.14 sun ORANDO Gallery Space

11:00-18:00 (最終入場17:30) 3/6・3/13は21:00まで(最終入場20:30) 月曜休
入場料千円 * 実験用チョコレート付(各種障害者手帳をご提示の方は入場無料)



主催：HIROSAKI AIR (弘前市市民参加型まちづくり1%システム活用事業)
協力：浪漫須磨古齡糖/つがるねっと 後援：弘前大学





ここは、 感覚の実験室。

ロマンスラボ展は、あなたを知るための展覧会です。
本展では「感覚の拡張」をテーマに、弘前ゆかりの作家によるさまざまな
ジャンルの作品をオリジナルフレーバーのチョコレートとともに
体験することができます。触る、聴く、見る、訓むを味わう。
感覚を掛け合わせると、私たちのココロとカラダに何が起きるのか？
作品鑑賞の新たなカタチを一緒に探求してみましょう。

実験の手引き じっけんのてびき

【味覚】実験用チョコレート（九種類十一枚）

制作：須藤銀雅（浪漫須貯古齡糖オーナー）

入口で、実験用のチョコレートをお受け取りください。
各実験で使用しますので、ここで食べてしまわないようご注意ください。
実験の際は、チョコレートを口に含んだらマスクを着用し、味と香りに身を委ねてください。

【プロローグ、嗅覚の実験室】チョコレートの解剖

協力：弘前大学農学生命科学部教授 橋本 勝

まずは嗅覚の実験から。
はじまり・先頭を意味する「鼻」。
おいしく食事を楽しむために、嗅覚は重要な役割を担っています。
ここでは、チョコレートの香氣成分を分解した香りを体験します。

【その一、触覚の実験室】触れた感覚と味はリンクする？

作品提供：塚本悦雄（彫刻家）

作家が近年取り組むモチーフ、「マメコバチ」。
マメコバチはりんごの受粉を手助けしてくれる、りんごのまち弘前にとって馴染み深い昆虫です。
本展では、質感・素材の異なるマメコバチの彫刻作品を展示。
その触り心地やイメージからインスパイアされたチョコレートで、その質感を体験します。

【その二、音の実験室】聴く曲で味は変化する？

音楽制作：fug（サウンドスケープ・ユニット）

噛み砕く、飲み込むなど、食事中わたしたちの体には様々な音が発生します。
そして、音楽という聴覚刺激も味覚に影響を及ぼすそうです。
音から生み出される味、味を変える音…味と音の関係を味わいます。

【その三、イメージの実験室】物語を味覚で拡張する／色で味は変化する？

作品制作：もなか（イラストレーター）

人間の五感の情報収集能力は、視覚が80%以上、味覚はたった1%程度とも言われています。
今回のために制作された漫画『雲を買った日』と、その世界観に合わせて調合されたチョコレート。
イメージを拡げる味、色の変化が味覚に与える影響を体験します。

【その四、言葉の実験室】味から詩は生まれるのか？

詩制作：福田藍至（Primavista.org 代表）

美味しいものを食べると人は詩人のように饒舌になります。
実験室にあるのは、最後の言葉が空欄になった詩。
一つのこたえをチョコレートにしました。
あなたなら、チョコレートからどんな言葉を紡ぎますか？



「ロマンス」という魅惑的な生の営みに思いを馳せながら。

「アート」という語によってもっとも想起されるのは絵画をはじめとする造形芸術であらう。この芸術がもつばら視覚的体験に結び付けられるようになったのは一体いつ頃のことであろうか。

西洋においてそれは、近代のはじまりを告げるルネサンスの時代に遡る。レオナルド・ダ・ヴィンチは、その『絵画論』において、五感における視覚の優位性を説き、視覚によって享受される絵画こそが諸芸術のうちで最高位にあると論じた。

彼にとって視覚は、五感のなかで唯一、理性に結びつく感覚である。美しいもの（彼は女性の美しい肢体を例にあげている）に対して、味覚や嗅覚、そして触覚はもちろんその美を味わおうと反応する。

しかし実際のところ、アートに際して、人はもつばら視覚（あるいは聴覚）のみを働かせてきたわけではない。

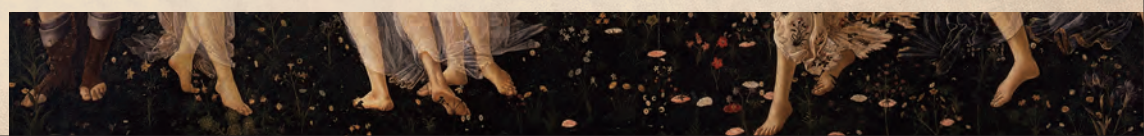
美術館という箱の外、たとえば、仏教寺院やキリスト教の教会堂において聖像が享受される時、そこでは芳しい香が焚かれ、人々はそれらの匂いを嗅ぎながら目の前の像を拝す。あるいは、かつてフィレンツェ郊外のトスカーナ大公のヴィッラにあったポッティチェッリの《春》は、大公の食堂の壁に掛けられ、隣接する庭から漂う健康に良いとされたハーブの香り、またそれらの味とともに、食事の席で享受されていた。さらに、ビル・エヴァンス・トリオの《ワルツ・フォー・デビイ》に耳を傾けるならば、旋律の背後にかすかに聞こえるグラスの重なる音が、音楽とともに供された味の存在を際立たせている。

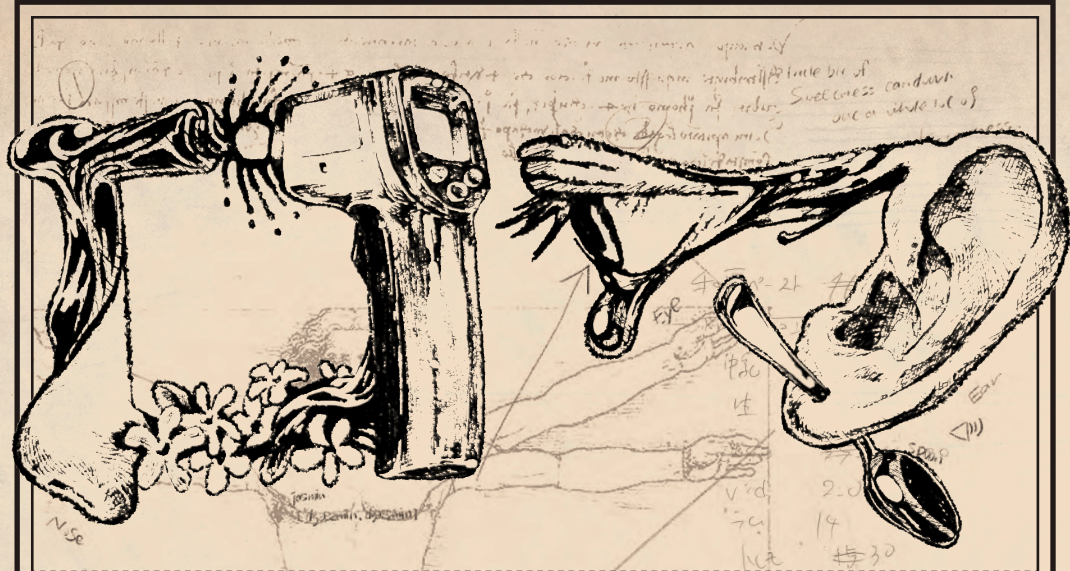
絵画や彫刻、音楽の体験とは、むしろ、五感が協働してなされるものであり、それは単純な快だけでなく、宗教的法悦や健やかな生への満足、あるいは（このように言ってよいなら）ロマンス的高揚感へと結びついていく。その体験において、味覚や嗅覚のはたらきを見過ごすわけにはいかない。

1960年代以降のアートの多くは、いうなれば、視覚に特化した近代的芸術制度からの脱却を図ろうとしてきた。そこにおいて観者は、自己・他者間を行き来しつつ、視覚や聴覚の多様な様態を体験し、思考を重ね、そして作品そのものに参加する。このような状況下で近年注目されているのが美的体験における視覚以外の感覚器官のはたらきである。近代の芸術的枠組みが度外視してきた味覚と嗅覚は、今や、アート表現の中心的主題となりつつある。

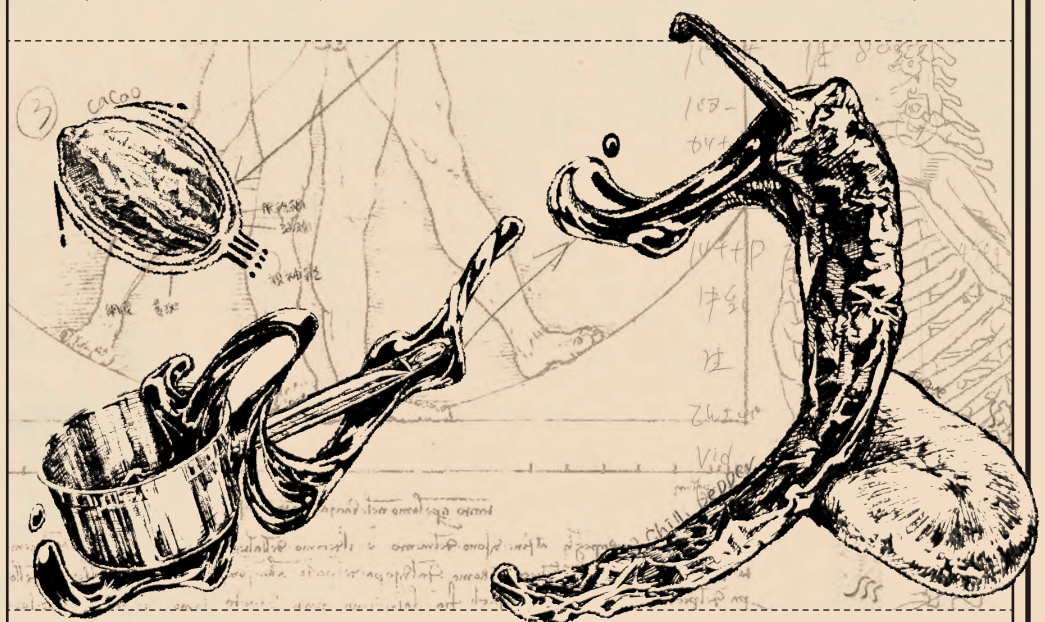
「感覚の実験室」たるこの展覧会は、チョコレートの味と香りを通じて、私たち観者に自己の感覚器官の可能性を反芻させつつ、コンテンポラリー・アートが引き起こす作品体験の構造的変化をも多層的に開示してみせているのである。

弘前大学教育学部准教授 出 佳奈子



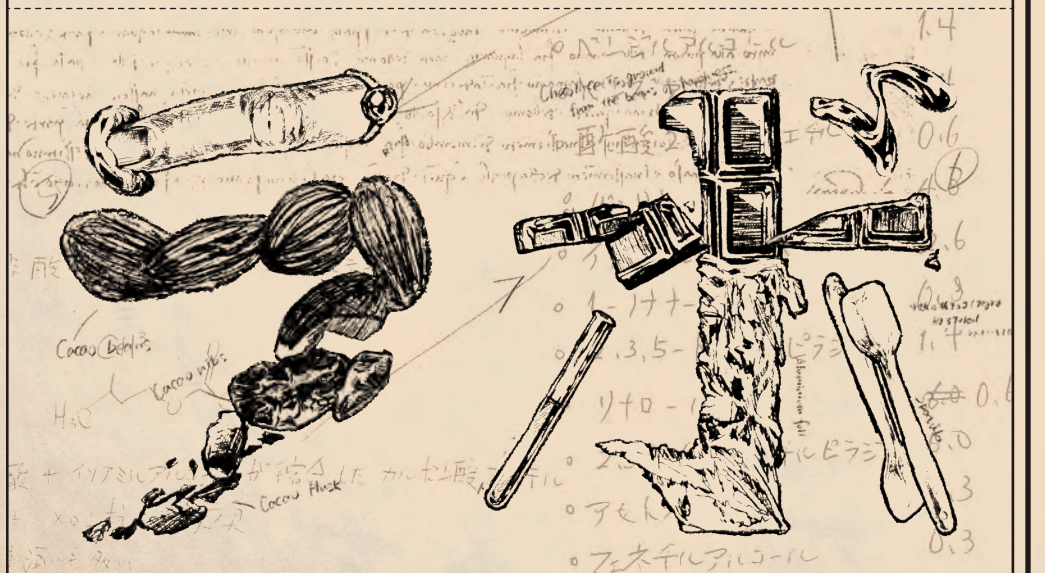


ここは、感覚の実験室。
〔ロマンスラボ展—ROMANCE Lab EXHIBITION〕



2021 2.27 sat _ 3.14 sun ORANDO Gallery Space

11:00-18:00 (最終入場17:30) 3/6・3/13は21:00まで(最終入場20:30) 月曜休
入場料千円 *実験用チョコレート付(各種障害者手帳をご掲示の方は入場無料)



主催：HIROSAKI AIR (弘前市市民参加型まちづくり1%システム活用事業)
協力：浪漫須貯古齡糖/つがるねっと 後援：弘前大学

【参加作家／プロフィール】

須藤銀雅 SUTO Ginga ショコラティエ

1986年、青森県弘前市出身。
大阪の製菓専門学校を卒業後、フレンチレストランやチョコレート専門店などに勤務。2016年にBAR専用チョコレート「アールガッド」、2018年には弘前市にクラフトチョコレート専門店「浪漫須貯古齡糖」を開業。食材やアルコール、カカオの香気成分や味覚に影響を及ぼす要素を研究し、日々新しいレシピを開発している。



塚本悦雄 TSUKAMOTO Etsuo 彫刻家

1962年、熊本県生まれ。
1989年に東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。現在は弘前大学教育学部教授。主な個展は、「ヴィジョン・オブ・アオモリ vol.17 塚本悦雄 - 彫刻ファーム」(国際芸術センター青森/2019年)



fug サウンドスケープ・ユニット

1982年、青森県南津軽郡平賀町生まれ。
Art into Life、meditations、STORE15NOV等のレコードショップに出会い、アンビエントやドローン、ニューエイジ等に影響を受ける。YAMAHA QY70のトラックに、サンプリングした自然音をふり掛けて造るアトモスフィア。



もなか MONAKA イラストレーター

青森県むつ市出身。
弘前大学教育学部生涯教育課程芸術文化専攻卒。「イラスト図解 寿司ネタ1年生」(宝島社)イラスト・漫画を担当。



福田藍至 FUKUDA Ranji Primavista.org 代表

1985年、弘前市生まれ。
新聞社に記者として勤務する傍ら、文筆活動を行っている。弘前発の多目的クラブイベント「Primavista」、ポップカルチャーイベント「ういっちゃんむ!!」などを主催。昨年、第二子となる女の子が誕生。



【夜の實驗室 ロマンス・ナイト・ラボ】

3/6(土)・3/13(土) 17:00~21:00

ショコラティエ・須藤銀雅とワインソムリエ・永田朗麻が開発したロマンス・ナイト・ラボオリジナルメニュー「ワインチョコレート」や「調合ワイン」などが楽しめる体験型BARが開店。

*ノンアルコールメニューもご用意しています
*バーのみのご利用には入場料はかかりません



【ロマンスラボ・ショップ】

展示期間中、オリジナルチョコレートを数量限定で販売します。作家とのコラボレーション商品や実験に使用したフレーバーなど、ご自宅でもロマンスラボ展を楽しめます。

〈販売商品例〉マメコバチチョコレート(土日のみ販売)
『雲を買った日』冊子&オリジナルフレーバーチョコ
ロマンスラボ展・アソートセット #001、#002 (各4種類入)



ロマンスラボ展に関する情報は
HIROSAKI_AIRのフェイスブックより
お知らせいたします。

ACCESS

HIROSAKI ORANDO (弘前オランダ)
036-8035 青森県弘前市百石町47-2 / 0172-40-3950
駐車台数には限りがございます
公共交通機関・徒歩でのご来場にご協力ください

【電車でのアクセス方法】
JR弘前駅中央口から徒歩15分、弘南鉄道中央弘前駅から徒歩10分
【バスでのアクセス方法】
土手町循環 100円バス
ホテルニューキャッスル前停留所から徒歩2分

弘前公園東門口から徒歩8分
弘前れんが倉庫美術館から徒歩13分
雪道の場合、より移動時間がかかります
雪・氷などで滑らないよう足元にご注意ください

HIROSAKI ORANDO
47-2 Hyakkokumachi, Hirosaki-city, Aomori-ken 036-8035 Japan
TEL +81-172-40-3950

By Train
15-minutes walk from JR Hirosaki Station
10-minutes walk from Konan Tetsudo Chuo Hirosaki Station
By Bus
From JR Hirosaki Station
take Konan bus to "Hotel New Castle-mae" and walk 2-minutes



【事務局】HIROSAKI_AIR (ヒロサキ エア) / hirosakiair@gmail.com / 050-5375-7294 / 担当：樽澤

本展は、新型コロナウイルス感染拡大対策のため内容を変更させていただく場合がございます。事前にFacebookにてご確認ください。

【注意事項】可能な限り少人数での来場にご協力をお願いします/会場内でお客様同士の距離が十分に保てなくなった場合、入場制限を設ける場合がございます/発熱、咳等の症状がある方や体調が優れない方は来場をお控えください/マスクの持参、着用をお願いします/体温が37.5℃以上の場合、入場をお断りさせていただきます/会場に除菌用アルコールを設置しています。手指の消毒にご協力ください/スタッフによる除菌スプレーでの消毒や、会場内の換気を徹底しております/会場内で体調が悪化した場合はスタッフへお申し出ください